

第1回 医療安全心理・行動学会 学術総会

安全行動への転換

オンデマンド（録画配信）とのハイブリッド会議

会期

2023年7月29日(土)～30日(日)

会場

東京大学本郷キャンパス

総会長

出江 紳一（東北大学大学院医工学研究科リハビリテーション医工学分野 教授）

（対象者） 医療安全に関する心理・行動に関心のある方。

医科医療安全、歯科医療安全、医薬品安全、医療機器安全、看護安全、リスクマネジメント、品質管理、
ヒューマンファクターと安全工学、リスクコミュニケーション、臨床コーチング、法行政学、医療経済学、医療経営学、
情報科学、行動科学、認知科学、疫学・統計、心理学、行動学研究者、病院経営者、病院長、医療行政担当者、
総括医療安全管理者、医科医療安全管理者、歯科医療安全管理者、医薬品安全管理者、医療機器安全管理者、病理医、臨床医、
薬剤師、保健師、看護師、訪問看護師などの在宅医療関係者、ケアマネージャー、介護福祉士、臨床工学技士、
診療放射線技師、臨床検査技師、院内法務担当者、弁護士、研修医、学生、医療産業従事者、その他の医療職の方

連絡先

第1回医療安全心理・行動学会学術総会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 4-7-12-102

(TEL) 03-3817-6770 (FAX) 03-6801-6987

(Email) 1stpsyb@mspo.org



目次

ご案内	1
ごあいさつ	5
学会の趣旨・お知らせ（次年度総会）	9
日程表	10
報道関係の方へ	12
交通のご案内	12
会場のご案内	13
飲食について	14
座長・演者へのお知らせとお願い	15
プログラム 7月29日（土）	16
プログラム 7月30日（日）	20
企画講演の要旨 7月29日（土）	25
一般演題の要旨 7月29日（土）	40
企画講演の要旨 7月30日（日）	43
一般演題の要旨 7月30日（日）	64
医療安全心理・行動コンサルタント 資格制度について	68
学術雑誌「医療安全の心理・行動」	70

(オンデマンド配信期間)

繰り返していつでもどこでも視聴可能です。

2023年8月5日(金)～2023年9月4日(月)

(視聴方法)

- ・記録媒体配信用のサイトの詳細を8月5日に希望者へお届けします。
ご希望の場合は事前に事務局へご一報ください。
- ・記録媒体配信はインターネットに接続可能な機器でご視聴頂けます。
- ・参加者には、記録媒体配信を視聴するための特設ホームページをメールにて通知いたします。

(必要な機材)

- ・インターネットに接続して、音声を流すことができるPC等の電子機器。
- ・PDFファイルの閲覧ソフト(例:Acrobat Reader、無料版あり)
- ・ブラウザの動作確認はGoogle Chrome、Microsoft Edgeにて行っております。

お知らせ

事前参加申込は受付を終了しました … 7月14日

7月15日以降の参加費支払の際には【当日参加費】のお支払が必要です。
オンデマンドのみの参加申込は8月21日迄受付けております。

<https://mspo.org/msspb/1stpsyb/register/index.html>

(電子版抄録集の URL の通知)

参加費支払い済みの方へ電子メールにて事前にお知らせします。

(参加証)

開催1週間前頃に電子版参加証を電子メールにてお送りします。
来場の際、各会場入り口では参加証ないし参加費領収書をご提示ください。

(領収書)

電子版領収書を電子メールにてお送りします。
PayPalによる支払の場合、支払完了時にPayPalより自動送付されるものをお使いください。

(印字版抄録集の配布)

購入希望者には郵送にてお送りします。
開催前の送付をご希望の場合は2023年6月30日迄に購読料(3000円)をお支払ください。

事前参加登録方法

1. 事前参加申込締切: 2023年7月14日(金)

※印刷版抄録集の購入を希望の場合は2023年6月30日(金)までに参加登録を完了してください。

2. 参加費

	医療安全心理・ 行動学会の会員 (医師)	医療安全心理・ 行動学会の会員 (医師以外)	非会員 (医師)	非会員 (医師以外)
事前参加費(非課税)	8,000	4,000	10,000	5,000
当日参加費(非課税)	10,000	5,000	12,000	6,000
印刷抄録集	3,000	3,000	3,000	3,000

- ・ お支払を完了された方には、参加証をお送りいたします。
- ・ PayPalによる支払の場合、領収書は支払完了時にPayPalより自動送付されるものをお使いください。
- ・ 参加費には電子版抄録集を含みます。

3. 参加費振込:

支払締切: 2023年7月14日までに振り込み控えをFAXください。

(振込先口座)

銀行支店名: みずほ銀行 本郷支店 支店番号: 075
口座番号: 普通 4197366 口座名義: MSSPB 総会

4. カード決済(PayPal):

PayPalを利用したカード決済方法となります。以下のURLよりお支払が可能です。

<https://mspo.org/msspb/lstpsyb/register/index.html>

※支払項目をご選択の上、お支払ください。

※誤った項目を選択し、返金をご希望の場合は支払月末迄に事務局へご連絡ください。

第1回 医療安全心理・行動学会学術総会

会期： 2023年7月29日(土)～30日(日)
場所： 東京大学本郷キャンパス

【総会長】

出江 紳一 (東北大学大学院医工学研究科リハビリテーション医工学分野 教授)

【総括】

杉山 尚子 (医療安全心理・行動学会 理事長)

【プログラム委員長】

西隈 菜穂子 (近畿大学病院患者支援センター)

【プログラム副委員長】

平井 理心 (筑波大学附属病院臨床心理)

【組織委員長】

鈴木 高弘 (横浜薬科大学実務実習センター)

【実行委員長】

飛田 結実 (医療安全推進機構)

プログラム委員会： 理事会に同じ

組織委員会： 正副会長、全理事、全代議員、その他

実行委員会： 正副会長、全理事、全代議員、その他

主催

一般社団法人 医療安全心理・行動学会

後援

【官公庁】厚生労働省 文部科学省

【学会】一般社団法人医療安全推進機構、国際医療リスクマネジメント学会、患者・家族メンタル支援学会、日本心理学会、日本行動科学学会、
日本社会心理学会、日本認知心理学会、日本認知科学会

【専門職団体】日本医師会、日本看護協会、日本薬剤師会、日本病院薬剤師会、日本歯科医師会、日本臨床工学技士会、日本診療放射線技師会、
日本歯科衛生士会、日本リハビリテーション医学会

青森県医師会、秋田県医師会、一般社団法人 福島県医師会、千葉県医師会、公益社団法人 神奈川県医師会、長野県医師会、新潟県医師会、
静岡県医師会、愛知県医師会、鳥取県医師会、島根県医師会、徳島県医師会、青森県看護協会、岩手県看護協会、宮城県看護協会、秋田県看護協会、
茨城県看護協会、埼玉県看護協会、千葉県看護協会、東京都看護協会、公益社団法人山梨県看護協会、富山県看護協会、公益社団法人 福井県看護協会、
静岡県看護協会、滋賀県看護協会、大阪府看護協会、鳥取県看護協会、島根県看護協会、広島県看護協会、徳島県看護協会、愛媛県看護協会、
福岡県看護協会、公益社団法人 熊本県看護協会、栃木県病院薬剤師会、千葉県病院薬剤師会、東京都病院薬剤師会、岡山県病院薬剤師会、愛媛県薬剤師会

ごあいさつ

総会長挨拶

出江 紳一

東北大学大学院医工学研究科リハビリテーション医工学分野 教授



このたび心理・行動から医療安全を考える学会がスタートし、第1回学術総会長を拝命致しました。学術総会開催に向けて一言ご挨拶を申し上げます。私はこれまでにコーチングという対話的コミュニケーションの医療における有用性を研究してきました。まず、患者さんをクライアントとしてコーチングの効果と機能、そして保健医療福祉職・学生にコーチングを教育した効果、さらに医療組織にコーチングを導入し、コミュニケーション・スキル、組織活性度、医療安全の関係を検討し、論文等で発表してきました。医療組織におけるコミュニケーションの研究から、「個人がとるコミュニケーションの改善は、病院組織の活性化をもたらし、それらは患者安全文化の向上に寄与する」と考えています。

本学術総会では、医療安全が患者中心性を目指す実践的科学的テーマであることを確認し、コミュニケーションをはじめとして心理・行動から医療安全を考える場となるべく努めます。皆様のご参加をお待ちしています。

理事長挨拶

杉山 尚子

MSP0 医療安全高等教育院 院長



記念すべき第1回学術総会のスローガンは「安全行動への転換」です。私の専門は行動分析学と呼ばれる心理学で、その応用分野の1つに行動安全学 (Behavior Based Safety) があります。医療安全の推進には環境整備と同時に、安全行動をいかに促進し、不安全行動をいかに抑制するかが不可欠です。本学会では、医療安全を医療や工学のみならず、心理学・行動学・教育学の観点から学際的に捉え直すことを目指しています。2日間にわたる第1回学術総会に多様な分野から多数の方がご参加くださり、多面的な視点から医療安全行動に関する議論が沸き起こることを期待します。

プログラム委員長挨拶

西隈 菜穂子

近畿大学病院 患者支援センター室長



この度、第1回医療安全心理行動学会学術集会のプログラム委員長として、会の運営を担当することになりました。

私は、今まで看護師として医療安全管理者を経験し、看護部の管理に携わり、現在は患者支援センターという多職種の部署で勤務をしており、職種や役割の違いによる考えや思いの違いを痛感し、日々学んでいます。組織の中で発生したインシデントやアクシデントは、報告などに基づき根本原因を特定して対策を立案し実施する、また、なぜ通常の業務が問題なく行われているのかを分析し、今後の安全管理に活用するなど、医療機関は様々な方法で安全を保つ努力をしています。これまでの安全文化の中で培われてきたこの積み重ねによる改善は、安全を高めるうえで必要かつ重要で、継続する必要があります。それに加えて、人を相手に人が関わる医療の中で、人が行っている安全という状態を認識し判断しているのも人であることにおいて、人とはどのような心理・行動特性があるかを知り学び研究し、医療安全に役立てることも大変重要なことです。

医療安全心理行動学会の目的である「医療安全に関する心理・行動研究を普及し、医療安全における人的側面上の課題の解決活動によって、より高度な医療安全文化を有する医療を構築する」に向かって、この学会では、医療に携わる方々が、心理・行動に精通した医療従事者以外の専門家と共に、特に、医療安全の心理行動にスポットを当て、情報を交換し学び議論できる場となることを期待しています。

第1回の学術集会のプログラムに携われること、これから続いていく学会の礎として開催できますことを大変嬉しく思います。

プログラム副委員長挨拶

平井 理心

筑波大学附属病院 公認心理師／臨床心理士



このたび、第1回医療安全心理・行動学会学術集会におきましてプログラム副委員長の任務を承りました。よろしくお願いたします。

私自身、臨床心理士であり、10年以上医療安全に携わってまいりました。日本では心理士が医療安全の業務に関わることは希でありますので、仲間を増やしたいと思うところです。また、レジリエンスやアサーション等——20年ほど前、私がフリースクールでの不登校児支援や女性支援センターでのDV被害者支援をしていたときに大切にしていたこと——が、医療安全において生き生きと活用されているのを見ると、嬉しく思い、もっともっと心理学が医療安全に役立つことがあると実感できるのです。心理学だけではなく、行動学、教育学など、様々な英知を取り入れながら医療安全を進めていくことが喫緊のミッションです。本学会の旗揚げと共鳴するように、医療界にもリベラルアーツ（自由になる技術）の風が吹いてまいりました。様々な観点から医療安全を自由にとらえ、発展させていく、そんな時代への幕開けとなるのではないのでしょうか。

みなさまには、本学会にご興味をもっていただき、ご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

組織委員長挨拶

鈴木 高弘

横浜薬科大学 薬学部 実務実習センター 准教授



このたび、第1回医療安全心理・行動学会学術総会を、令和5年（2023年）7月29日（土）～30日（日）に、東京大学本郷地区医学部キャンパス（鉄門記念講堂、他）において開催いたします。本学会は、医療安全学と行動心理学等を関連づける役割を担います。記念すべき第1回学術総会では、『安全行動への転換』をテーマとして、口演・ポスターによる一般演題に加え、教育講演、シンポジウム、企業セミナー等を開催する計画です。参加者は、行政関係者（厚生労働省等）や医療従事者（有資格者）だけでなく、大学院生、学生の方々も対象としており、すべての方に満足していただけるような企画を検討しておりますことをご報告申し上げます。

私自身、ハーバード大学で組織行動学を研究する Amy Edmondson 教授が1999年に提唱した概念である

「Psychological Safety（心理的安全性）」について強い関心があります。“A shared belief held by members of a team that the team is safe for interpersonal risk taking.” 「チームの心理的安全性とは、チームの中で対人関係におけるリスクをとっても大丈夫だということがチームメンバーに共有される信念のこと」とも定義されております。つまり、心理的な安全が保たれているということは、恐怖や不安を感じることなく、安心して発言・行動できる状態のことを指します。たとえば、心理的安全性に配慮した医療安全対策を推進するためには、医療提供施設（病院や薬局）等において、上述のような価値観を醸成し、根付かせることも重要であると考えます。様々な専門領域から多くの方々にご参加いただき、「医療安全心理・行動」について、活発な議論が展開されることを願っております。

しかしながら一方では、新興感染症である COVID-19 を制御するため、医療従事者がワクチン接種の推進や罹患者の治療にあたっていることを忘れてはおりません。いまだ予断を許さない状況ではありますが、参加者みなさまの感染予防対策の徹底とともに、医療安全の質を向上させる研究について、活発な議論ができるよう、環境整備についても十分に配慮する所存です。なお、本大会は対面での開催を念頭においておりますが、COVID-19 感染状況が大きく変化した場合に備え、柔軟に開催方式を変更することも視野に入れております。安心して研究発表の準備を進めてくださいますと幸いです。

本学術総会の目的と意義についてご理解いただき、医療安全心理・行動に関する領域の研究および教育の発展につなげることができるよう、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

学会の趣旨

本学会は医療安全を推進するために必要となる人的側面の向上のための学術団体で、一般社団法人医療安全推進機構が主催する学会の1つです。

医療安全に関する心理・行動研究を普及し、医療安全における人的側面上の課題の解決活動によって、より高度な医療安全文化を有する医療を構築します。医師・看護師・薬剤師などの医療従事者のみならず、心理研究者、行動研究者、コミュニケーション研究者、組織行動研究者、社会学研究者、法曹界など、広く様々な分野の方々と交流を促進します。

(主たる課題)

- ・ 医療安全におけるレジリエンス
- ・ 医療安全における認知行動・心理
- ・ 医療安全におけるコミュニケーション
- ・ 医療安全における教育・相談(カウンセリング・コーチングを含む)
- ・ 医療安全における患者支援
- ・ 医療安全における倫理・モラル
- ・ 医療安全におけるリーダーシップ・フォロアーシップ
- ・ 医療安全における心理的安定性
- ・ 医療安全におけるインフォームドコンセント
- ・ 医療安全におけるピア・サポート
- ・ 医療安全におけるチーム行動・組織文化
- ・ 医療安全におけるガバナンス
- ・ 医療安全における法的対応
- ・ 医療安全における心理・行動上のその他の課題

次年度 第2回 医療安全心理・行動学会学術総会のお知らせ

会期: 2025年3月22日～23日
場所: 大阪大学コンベンションセンター

共同総会長: 篠原 一光 (大阪大学人間科学部応用心理学教授)
大谷 壽一 (慶応病院薬剤部長・薬学教授部)
飛田伊都子 (大阪医科薬科大学看護学部教授)

総括: 杉山 尚子 理事長

日程表 2023年7月29日(土)

会場	招聘・特別・教育・官庁講演 パネル討論会 シンポジウム 一般口演		受付・演者控室
部屋名	東京大学医学部 1号館3階大講堂	東京大学医学部 1号館1階講堂	
9:00			9:00~受付開始
9:30			東京大学医学部 1号館3階
10:00	開会式		
10:30	ST01 理事長講演 医療安全における心理と行動 演者: 杉山 尚子 座長: 飛田 伊都子		
11:00	ST02 総会長講演 患者中心医療における対話的コミュニケーションの価値 演者: 出江 紳一 座長: 大谷 寿一		
11:30	SPO1 招聘講演 交通心理学における交通事故分析と 医療安全との関連性 演者: 加藤 麻樹 座長: 中田 光紀、秋富 慎司	SPO3 特別講演(動画講演) 患者家族の立場から 演者: 勝村 久司 座長: 栗原 慎太郎	
12:00		SLO1 官庁講演(動画講演) 医療安全施策の動向 演者: 渡邊 文子	
12:30			
13:00			演者控室 東京大学医学部 2号館1階小講堂
13:30	PN01 パネル討論会 助産師と妊産婦によって 機能的に進める 医療安全確保 座長: 井上清成	NPO1 一般演題1 座長: 鳥谷部 真一	
14:00		PN02 パネル討論会 医療DX時代における医薬品情報の 取り扱いに関する現状と課題 座長: 鈴木 高弘、寺内 恭平	
14:30			
15:00	ELO1 教育講演 判断と意思決定に関する行動意思決定研究の基本的な方法 演者: 竹村 和久 座長: 浅井 篤	SNO1 シンポジウム(評議員交流会) 医療安全での心理学的アプローチの課題 座長: 塚田 敬義、安達 悠子	
15:30	SPO2 特別講演 レジリエンスの考え方 演者: 藤井 聡 座長: 小田 克彦		
16:00			
16:30		定例理事会 15:45-16:30	
17:00		定例評議員大会 16:45-17:15	

日程表 2023年7月30日(日)

会場	招聘・特別・教育・官庁講演 パネル討論会 シンポジウム 一般口演		受付・演者控室
部屋名	東京大学医学部 1号館3階大講堂	東京大学医学 1号館1階講堂	
9:00			8:00 受付開始
9:30	SPO4 特別講演 災害リスクマネジメントと人間心理 演者: 廣井 悠 座長: 辻本 広紀	PN03 パネル討論会 安全と倫理 座長: 浅井 篤	受付 東京大学医学部 1号館3階
10:00			
10:30	SPO5 招聘講演 リスク認識 組織風土測定 演者: 岡本 浩一 座長: 星山 栄成	PN04 パネル討論会 医療安全とコミュニケーション 座長: 井手口 直子	
11:00			
11:30	SPO6 招聘講演 鉄道におけるリスク関連情報の 収集・活用に関する研究 演者: 宮地 由芽子 座長: 小畑 仁司	NP02 一般演題2 座長: 遠藤 純男、湯本 智恵子	
12:00			
12:30			演者控室 東京大学医学部 2号館1階小講堂
13:00			
13:30	SPO7 特別講演 感染症のリスクコミュニケーションのあり方 演者: 四柳 宏 座長: 永山 正雄	SN02 シンポジウム(評議員交流会) 看護安全での心理行動学の課題 座長: 西隈 菜穂子、南里 美貴	
14:00	PN05 パネル討論会 医療安全における倫理・モラル そして法規範 -コロナ禍における 帝王切開手術適応を例にとって- 座長: 井上清成		
14:30		SN03 シンポジウム(評議員交流会) 医薬品安全での心理行動学の課題 座長: 鈴木 高弘、稲垣 正巳	
15:00	ELO2 教育講演 看護師の立場から 演者: 飛田 伊都子 座長: 杉山 尚子		
15:30			
16:00	閉会式・次大会長挨拶		

報道関係の方へ

1. 報道機関、出版社の取材記者の方へ

- ・ 参加費は無料で、事前申し込みは一切不要です。
- ・ 抄録集(電子版)をお知らせしますので、事務局へお問い合わせください。
- ・ 抄録集(印字版)をご希望の際には、1部3,000円にて購入いただけます。
- ・ 本学術総会の開催ついて貴社を通じて広く社会へ広報していただけますと幸いです。

交通のご案内



最寄り駅からのアクセス

- ・ 本郷三丁目駅（地下鉄丸の内線）より徒歩8分
- ・ 本郷三丁目駅（地下鉄大江戸線）より徒歩6分
- ・ 湯島駅又は根津駅（地下鉄千代田線）より徒歩8分
- ・ 東大前駅（地下鉄南北線）より徒歩1分
- ・ 春日駅（地下鉄三田線）より徒歩10分

会場のご案内



医学部1号館

- 第1会場 東京大学医学部1号館3階大講堂
- 第2会場 東京大学医学部1号館1階小講堂

飲食について

会場内の飲食・喫煙は一切禁止されています。

(昼食)

安田講堂前広場の地下に学生食堂と生協があります。

東大正門~本郷三丁目交差点付近に多数の飲食店があります。

後楽園ドームシティには多数の飲食店がございます。(タクシー5分、徒歩15分)

その他飲食店情報は下記をご参照ください。

<https://mspo.org/msspb/lstpsyb/restaurant/index.html>



令和5(2023)年4月版

座長・演者へのお知らせとお願い

1. 座長の方へ

- ・ 座長の受付はございません。ご担当セッションの開始10分前までにご入場ください。
- ・ 進行は時間厳守でお願いいたします。アナウンス係の準備はございませんので、時間になりましたら開始してください。

2. 特別講演・招聘講演および官庁講演、教育講演の発表の方法

- ・ 各セッション開始の10分前までに、次演者席（各会場左側前方）にお越しください。

3. シンポジウムの発表の方法

- ・ 講演は1人の発表者につき原則15分です。座長からの指示がある場合は別途ご対応ください。
- ・ 各セッション開始の10分前までに、次演者席（各会場左側前方）にお越しください。

4. パネル討論会の発表の方法

- ・ 講演は1人の発表者につき原則15分です。座長からの指示がある場合は別途ご対応ください。
- ・ 各セッション開始の10分前までに、次演者席（各会場左側前方）にお越しください。

5. 口演発表の方法

- ・ 一般演題（口演）は1題10分（質疑応答2分含む）です。
- ・ 各セッション開始の10分前までに、次演者席（各会場左側前方）にお越しください。

6. 発表形式について

- ・ パワーポイント用データ保管のUSBメモリーをご持参ください。
- ・ USBメモリーをご自身でPCに装着したのちご自身でご操作ください。
- ・ リモコン操作器具をご用意いたします。
- ・ PC（Windows7ないしWindows10）一台をご用意できます。
- ・ マッキントッシュPCをご持参の場合：モニターとの接続ケーブルをご持参ください。

7. 学会賞

医療安全ファシリテーション賞（優秀賞）

- … 一般演題から若干数を選考・授与します。選考は参加者の投票を基に、総会長らが選考します。対象者へ学会機関誌「医療安全の心理・行動」に受賞論文としての寄稿を依頼します。

医療安全ファシリテーション賞（功労賞）

- … 発表演題数に応じて授与します。

プログラム 7月29日

(第1会場) 2023年7月29日

東京大学医学部1号館3階大講堂

ST01: 理事長講演

10:00-10:30

テーマ: 医療安全における心理と行動

座長: 飛田 伊都子 (大阪医科薬科大学看護学部 教授、医療安全推進機構国際学術理事)

演者: 杉山 尚子 (医療安全心理・行動学会 理事長、MSPO 医療安全高等教育院 院長)

ST02: 総会長講演

10:40-11:10

テーマ: 患者中心医療における対話的コミュニケーションの価値

座長: 大谷 壽一 (慶應義塾大学医学部 教授)

演者: 出江 紳一 (医療法人社団 三喜会 鶴巻温泉病院)

SP01: 招聘講演

11:30-12:10

テーマ: 交通心理学における交通事故分析と医療安全との関連性

座長: 中田 光紀 (国際医療福祉大学赤坂心理・医療福祉マネジメント学部、
国際医療福祉大学大学院医学研究科公衆衛生学専攻)

秋富 慎司 (東北大学 災害科学国際研究所 客員教授、
日本医師会 総合政策研究機構 客員研究員)

演者: 加藤 麻樹 (早稲田大学人間科学学術院・教授)

PN01 : パネル討論会

13:00-14:20

テーマ: 助産師と妊産婦によって機能的に進める医療安全確保

座長: 井上 清成 (井上法律事務所所長・弁護士、医療安全心理・行動学会理事)

パネリスト

井上 清成 (井上法律事務所所長・弁護士、医療安全心理・行動学会理事)

日隈 ふみ子 (出産ケア政策会議・共同代表)

松浦 照子 (松浦助産院・院長)

宮川 友美 (海(まある)助産院・院長)

島崎 明代 (しまざき助産院・院長)

古宇田 千恵 (出産ケア政策会議・共同代表)

EL01 : 教育講演

14:30-15:00

テーマ: 判断と意思決定に関する行動意思決定研究の基本的な方法

座長: 浅井 篤 (東北大学大学院医学系研究科 公衆衛生学専攻医療倫理学分野 教授)

演者: 竹村 和久 (早稲田大学 教授 同大学意思決定研究所教授 医療安全推進機構客員教授)

SP02 : 特別講演

15:10-15:40

テーマ: レジリエンスの考え方

座長: 小田 克彦 (岩手県立中央病院 心臓血管外科)

演者: 藤井 聡 (京大工・レジリエンス・リスクマネジメント、医療安全推進機構国際学術理事)

(第2会場) 2023年7月29日

東京大学医学部1号館1階講堂

SP03: 特別講演 (動画講演)

11:20-11:50

テーマ: 患者家族の立場から

座長: 栗原 慎太郎 (長崎大学病院 安全管理部 教授)

演者: 勝村 久司 (患者の視点で医療安全を考える連絡協議会、群馬大学医療事故調査委員)

SL01: 官庁講演 (動画講演)

11:50-12:10

テーマ: 医療安全施策の動向

演者: 渡邊 文子 (厚生労働省医政局地域医療計画課医療安全推進・医務指導室 主査)

NP01: 一般演題1

13:00-13:30

座長: 鳥谷部 真一 (新潟大学医歯学総合病院医療安全管理)

イオン性造影剤誤投与事故の再発防止に向けての取り組みと心理的安全性の検討

喜田 裕也 (光生病院 内科)

医療事故報道と情報リテラシー向上の課題検討～学会誌に掲載された事案を素材として

喜田 裕也 (光生病院 内科)

当院における開胸を伴う心臓大血管手術時のスワンガンツカテーテル誤固定のチームによる
防止策とその効果

小田 克彦 (岩手県立中央病院 心臓血管外科)

PN02 : パネル討論会

13:40-14:40

テーマ: 医療DX時代における医薬品情報の取り扱いに関する現状と課題

座長: 鈴木 高弘 (横浜薬科大学医薬品安全管理)

寺内 恭平 (メディカルデータベース株式会社)

パネリスト:

鈴木 高弘 (横浜薬科大学医薬品安全管理)

谷 直人 (国際医療福祉大学熱海病院検査部 部長)

西隈 菜穂子 (近畿大学病院 患者支援センター)

寺内 恭平 (メディカルデータベース株式会社)

SN01 : シンポジウム (評議員交流会1)

14:50-15:40

テーマ: 医療安全での心理学的アプローチの課題

座長: 塚田 敬義 (岐阜大学大学院医学系研究科医学系倫理・社会医学分野 教授)

安達 悠子 (愛知大学 文学部心理学科 准教授)

コメンテーター:

三上 久美子 (横浜市立みなと赤十字病院 看護副部長 医療安全推進課長)

小山 智史 (京都橘大学 看護学研究科 准教授)

医療安全での心理学的アプローチの課題 —心理学でチーズの穴は塞げるか—

平井 理心 (筑波大学附属病院 公認心理師/臨床心理士、医療安全推進機構 客員准教授)

医療安全での心理学的アプローチの課題

浅野 倫子 (東京大学大学院人文社会系研究科 准教授)

医療安全での心理学的アプローチの課題

羽瀧 由子 (周南公立大学 福祉情報学部 教授)

プログラム 7月30日(日)

(第1会場) 2023年7月30日

東京大学医学部1号館3階大講堂

SP04: 特別講演・招聘講演

9:00-10:00

テーマ: 災害リスクマネジメントと人間心理

座長: 辻本 広紀 (防衛医科大学教授・上部消化管外科科長)

演者: 廣井 悠 (東京大学先端科学技術研究センター 教授)

SP05: 特別講演・招聘講演

10:10-11:00

テーマ: リスク認識 組織風土測定

座長: 星山 栄成 (獨協医科大学 救命救急センター)

演者: 岡本 浩一 (東洋英和女学院大学人間科学部教授・社会技術研究所長)

SP06: 特別講演・招聘講演

11:10-12:00

テーマ: 鉄道におけるリスク関連情報の収集・活用に関する研究

座長: 小畑 仁司 (大阪医科薬科大学病院 救急医療部)

演者: 宮地 由芽子 ((公財) 鉄道総合技術研究所 人間科学研究部 安全心理 上席研究員 GL)

SP07 : 特別講演・招聘講演

13:00-13:30

テーマ: 感染症のリスクコミュニケーションのあり方

座長: 永山 正雄 (国際医療福祉大学 教授)

演者: 四柳 宏 (東京大学医科学研究所)

PN05 : パネル討論会

13:40-14:40

テーマ: 医療安全における倫理・モラルそして法規範
—コロナ禍における帝王切開手術適応を例にとって—

座長: 井上 清成 (井上法律事務所所長・弁護士、医療安全心理・行動学会理事)

パネリスト

井上 清成 (井上法律事務所所長・弁護士、医療安全心理・行動学会理事)

菊地 栄 (リプロ・リサーチ実行委員会、立教大学大学院兼任講師、社会デザイン学会理事)

伊藤 睦美 (コロナ禍で出産した当事者)

宗 祥子 (松が丘助産院院長・公益社団法人東京都助産師会会長)

白井 千晶 (静岡大学人文社会科学部、リプロリサーチ実行委員会)

EL02 : 教育講演

14:50-15:20

テーマ: 看護師の立場から

座長: 杉山 尚子 (医療安全心理・行動学会 理事長、MSP0 医療安全高等教育院 院長)

演者: 飛田 伊都子 (大阪医科薬科大学看護学部 教授、医療安全推進機構国際学術理事)

閉会式・次大会長挨拶

15:30-16:00

(第2会場) 2023年7月30日

東京大学医学部1号館1階講堂

PN03 : パネル討論会

9:00-10:00

テーマ: 安全と倫理

座長: 浅井 篤 (東北大学大学院医学系研究科 公衆衛生学専攻医療倫理学分野 教授)

パネリスト

井手口 直子 (帝京平成大学薬学部 教授)

塚田 敬義 (岐阜大学大学院医学系研究科医学系倫理・社会医学分野 教授)

浅井 篤 (東北大学大学院医学系研究科 公衆衛生学専攻医療倫理学分野 教授)

PN04 : パネル討論会

10:10-11:10

テーマ: 医療安全とコミュニケーション

座長: 井手口 直子 (帝京平成大学薬学部 教授)

パネリスト

永山 正雄 (国際医療福祉大学 教授)

中西 淑美 (山形大学医学部総合医学教育センター 准教授)

井上 清成 (井上法律事務所所長・弁護士、医療安全心理・行動学会理事)

NP02 : 一般演題 2

11:20-12:00

座長: 遠藤 純男 (大和徳洲会病院 医療安全管理)
湯本 智恵子 (長野中央病院 医療安全管理室)

RRSによるチーム行動報告

星山 栄成 (獨協医科大学 救命救急センター)

急性冠症候群搬送事象振り返りから病院間の心理的安全性向上への取り組み

池上 幸代 (長野県立木曽病院 医療安全管理室)

医療対話推進者の能力向上に資するための問いの技法体系化

中村 知佳子 (国立がん研究センター中央病院・医療安全管理部)

「ケアの倫理」と医療安全教育

野坂 佳生 (弁護士 (川上・野坂・安藤法律事務所)・金沢大学名誉教授)

SN02 : シンポジウム (評議員交流会 2)

13:00-14:00

テーマ: 看護安全での心理行動学の課題

座長: 西隈 菜穂子 (近畿大学病院 患者支援センター室長)

南里 美貴 (佐賀大学医学部附属病院 副看護部長)

コメンテーター:

田口 由美子 (熊本大学病院 中央手術部)

看護安全での心理・行動学の課題

栗田 園美 (東京女子医科大学附属足立医療センター 医療安全対策部 医療安全管理者)

医療安全管理者の業務と安全文化の醸成の二つの課題

笹館 香穂里 (医療法人徳洲会 大和徳洲会病院 (医療安全管理室 看護師長))

事例分析会の再開に向けて

森山 昭子 (愛媛県立中央病院 医療安全管理部 リスクマネジャー)

看護職における医療安全行動へのアプローチ

南里 美貴 (佐賀大学医学部附属病院 副看護部長)

SN03 : シンポジウム (評議員交流会 3)

14:10-15:10

テーマ: 医薬品安全での心理行動学の課題

座長: 鈴木 高弘 (横浜薬科大学医薬品安全管理)

稲垣 正巳 (名古屋掖済会病院)

コメンテーター:

平島 徹 (東京慈恵会医科大学附属第三病院 薬剤部 課長)

吉岡 我佳命 (東名厚木病院 薬剤課長 (医薬品安全管理責任) / 治験事務局長)

服薬実施行動に関する患者心理について

平島 徹 (東京慈恵会医科大学附属第三病院 薬剤部 課長)

医薬品安全での心理・行動学の課題

稲垣 正巳 (名古屋掖済会病院 薬剤部 部長)

医薬品安全での心理・行動学の課題: ～ タスクシフトに伴う薬剤部門が抱えている課題 ～

吉岡 我佳命 (東名厚木病院 薬剤課長 (医薬品安全管理責任) / 治験事務局長)

医療安全心理・行動学会のホームページ

<https://mspo.org/msspb/>

第1回医療安全心理・行動学会学術総会事務局

一般社団法人 医療安全推進機構内

〒113-0033 東京都文京区本郷 4-7-12-102

TEL: 03-3817-6770 FAX: 03-6801-6987

Email: 1stpsyb@mspo.org